

編集後記

この原稿を書いている1月末、今年の冬は北極から降りてくるとても低温の寒気が南下して、さらに南岸低気圧の微妙なコース取りの結果、日本各地および1月としては東京に64年ぶりの大雪を降らせました。

東京に通勤しているため、降雪の当日雪が降り始めたのは昼過ぎごろでしたが、この日は異例の社内一斉放送が流れて、「業務に支障がない場合は早退してください……」交通の乱れを予想して三々五々に帰り支度をして帰路に就く社員が増えて、就業時間近くには9割近くが退社しました。私も窓外の積雪具合を見ると自分の住んでいる埼玉県北部はかなりの積雪が予想されたため16時ごろには退社しましたが、時すでに遅く、地下鉄は超満員で朝の通勤ラッシュ以上に混雑していました。やっとの思いで自宅にたどり着いたのはいつもより1時間近く多く掛かってしまいました。連日の積雪予報が出ていたにも関わらず、当日まで早退の判断が遅く大混乱になってしまったのは日本の会社、学校など

の判断が遅いことが原因です。海外では雪の予報が前日までに出ていて交通機関に影響がある場合は、その時点で会社や学校を休みにするなど対処するため日本のような混乱が起きないような国々もあると聞いています。

今月号は「安全対策・労働災害防止」特集です。日頃の安全活動の一つに危険予知が定着しています。事前に積雪を想定して対策を立てることが重要なのだと改めて感慨をめぐらせました。

建設業は依然、災害で亡くなる人が全産業で一番多い業種です。高齢者が多くなりまた比較的経験の浅い作業者の安全に対する感性（危険予知能力）が低下しているように感じられます。今月号の特集にはVRを用いた安全教育に関する報文や、ICT技術を応用した安全装置付きの重機など、安全教育や安全対策策定の参考にしていただける内容を取り上げています。是非ご自分の仕事に生かしていただければ幸いです。

最後になりましたが、お忙しいなか快くご寄稿いただきました執筆者や関係者の皆様に、心から御礼申し上げます。（加藤・上田）

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

見波 潔 村本建設(株)

編集委員

山口 武志	国土交通省
山口 康広	農林水産省
浅野 仁之	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
加藤 誠	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
宇野 昌利	清水建設(株)
三輪 敏明	(株)大林組
久保 隆道	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
中村 優一	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
竹田 茂嗣	鉄建建設(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
飯田 宏	東亜建設工業(株)
鈴木 貴博	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
中川 明	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
小倉 弘	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
安藤 正紀	(株)加藤製作所
森田 育男	古河ロックドリル(株)
山下純一郎	(株)前田製作所
太田 正志	施工技術総合研究所

事務局

日本建設機械施工協会

3月号「自然再生、自然景観、都市景観特集」予告

・自然再生の現状と今後の推進 ・ポーラスコンクリートによる珊瑚礁の再生 ・UR都市機構の生物多様性ネットワーク構築への取り組み ・八幡湿原自然再生事業 ・生態系保全のため夜間照明にLED照明を全面採用 ・エコロジカル・ランドスケープ概論 ・日立市の河原子海水浴場付近での侵食と今後の方策 ・養浜による海岸再生 ・宮中取水ダム魚道構造改善事例 ・植生基盤材料を目指した牡蠣殻ポーラスコンクリートの開発 ・建設工事における代償ビオトープの創出 ・川が川の形をつくる ・踏まれても枯れにくい駐車場緑化技術の開発

【年間購読ご希望の方】

①お近くの書店でのお申込み・お取り寄せ可能です。 ②協会本部へお申し込みの場合「図書購入申込書」に以下事項をもれなく記入のうえFAXにて協会本部へお申込み下さい。

…官公庁/会社名、所属部課名、担当者氏名、住所、TELおよびFAX

年間購読料 (12冊) 9,252円 (税・送料込)

建設機械施工

第70巻第2号 (2018年2月号) (通巻816号)

Vol.70 No.2 February 2018

2018 (平成30)年2月20日印刷

2018 (平成30)年2月25日発行 (毎月1回25日発行)

編集兼発行人 田崎 忠行

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18	電話 (022) 222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10	電話 (052) 962-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話 (092) 436-3322

本誌上への
広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-21-5 井手口ビル 4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中